



よみがえれ！ 花香るふるさとよ 楽会はコンサートで応援

あまりの衝撃に誰もが言葉すら失った東日本の大震災。
そんな中、楽会関係者から「チャリティーコンサートのよ
うな事はできないでしょうか」の声。宴でおなじみの各ア
ーティストからも共感の輪があつという間に広がりました。
やんわりと楽しみながら、そこで生まれる温かい気持ちを
「応援の形」に変えていくことこそ、花の香イズム。5月
22日（日）午後1時から大須賀中央公民館大ホールにての
コンサート開催が急きよ決まりました。あなたもこの輪にぜ
ひ、加わってください。



花の香楽会プレゼンツ

『よみがえれ！ 花香るふるさとコンサート』

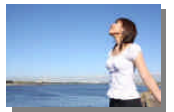
と き：2011. 5. 22（日）午後1時開場 1時30分開演
ところ：大須賀中央公民館ホール（掛川市西大淵145）
入場料：無料 直接会場へGO！（義援金を募ります。）
出 演：劉揚（二胡）波木克己（テンホールズ・ハーモニカ）
小田麻子（ソプラノ）藤田廣明（ピアノ）ほか

【楽会行事予定予告】

- ・恒例の田植えは別紙に詳報あり。
- ・菅富士水田の草刈作業
5月29日（日）午前10時～正午
お手伝いできる方は作業着・手弁当で直
接鷲山邸すぐ北の田んぼまで。

中溝ひろみ初アルバム発売！

タイトルは『Song for a Sky』が発売！
ジャズからオリジナルまで全12曲を収録。
宮之上貴昭のプロデュース&アレンジが
いい感じ。ピアノトリオ、ギター、ストリングス、
クラリネット演奏の豪華版！！税込3,000円で、ご
予約は jwelhandsclean@yahoo.co.jp まで。5/5には
ライブもやるし、売上の一部は義援金に充てます。

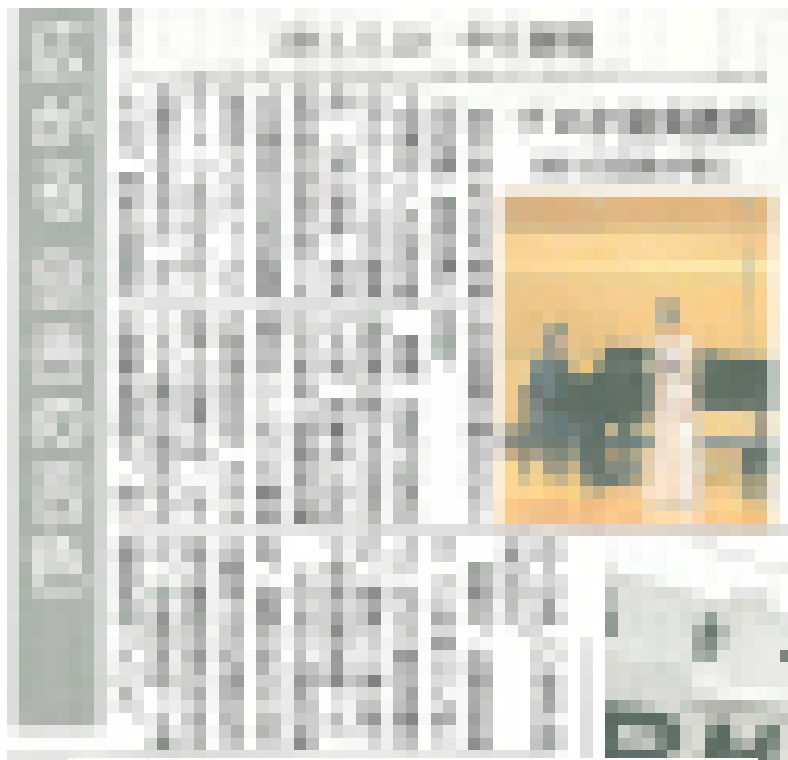
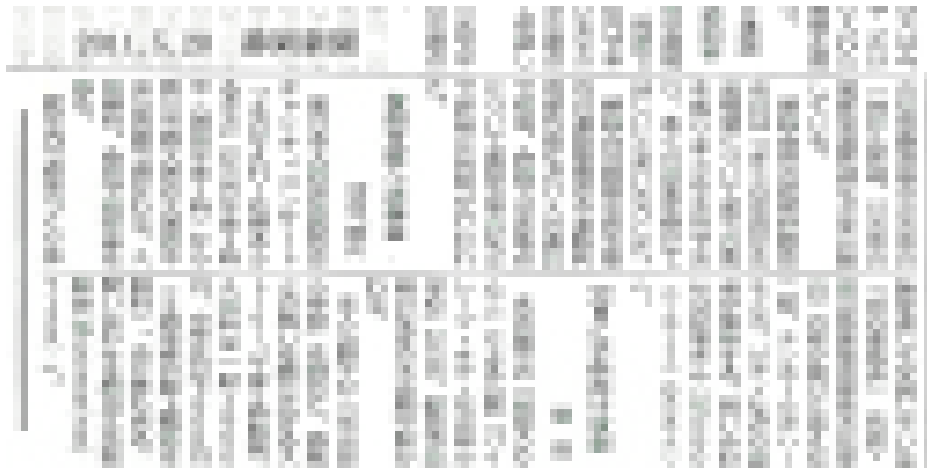


楽会は「あこがれ先生プロジェクト」にも協賛していきます♡

未来の子供たちのために、輝ける素敵なお先生が増えてほしい、という
中村文昭氏のプロデュースによる表題企画がスタートしました。

8月20日（土）島田市民文化会館に、全国活躍中の輝いている先生方を
招き、静岡の先生や私たち地域人にエールを贈る催しです。詳細はHPで。

<http://akogare-sensei.com> お誘いあわせのうえご参加ください。



2011. 5. 27 郷土新聞

復興祈念コンサート 花の香楽会開く



地元の酒米を使った幻の美酒復活活動を行っている掛川市の「花の香楽界」代表が22日、大須賀中央公民館で東日本復興を願うチャリティコンサートを開いた。毎年酒造りの節目にコンサートを開いてお

り、今回も会員として趣旨に賛同してくれているアーティストに出演を依頼した。ハーモニカ奏者の波木克己さん、ソプラノ歌手の小田麻子さん、ピアノの藤田廣明さん、二胡の劉楊さんから多彩なメンバーが集まり、「よみがえれ！花香るふるさと」と題して情感を込めた演奏が繰り広げられた。

27～29日 奥州市物産販売会

東日本大震災後、坂一こだわらば、これっ



響いて届けた16万円余 花の香特別楽章チャリティーコンサート



5月22日『よみがえれ! 花香るふるさと』と題したチャリティーコンサートを楽会特別楽章として大須賀中央公民館で開催。およそ170人の聴衆が、楽会宴でご存知のアーティスト劉揚、波木克己、小田麻子、藤田廣明ほかの心に響く演奏や歌声を楽しみつつ募金をしてくださいました。

会場費等の必要経費を除いて集まった161,047円の善意が中日新聞社会事業団東海支部を通じて被災地に届けられます。「震災復興は超長期戦。暮らしを楽しむ余熱を届ける、という息の長い取り組み」こそ楽会スタイルです。今後もお付き合いよろしく♡

田植えで呼ぼう 花香る日本を! が呼んだ女性パワー

楽会初の静岡県産酒造好適米『誉富士』田植えとなった今回（え? 前回も植えたジャン? 稲刈りはそうだけど田植えはなんちゃって版でした。実は）、6月5日鷲山主宰邸北の約30アールの田んぼに集まったおよそ120人が田植え体験と『花香る日本復興祈念交流会』を楽しんだ。

今回集った仲間の注目ポイントは女性パワー。

準備から片付けまで精力的に行事に参画してくれた東京女子医大生5人組や鷲山主宰が推進していた日中韓コンソシアム（共同体）が縁で参加してくれた中国・韓国の女性ゲストらが、楽会交流の幅をグローバルに広げてくれた。田植えや復興祈念という何かを産み出すという事業には女性パワーは欠かせませんね。



◇スケジュールに第2楽章稲刈りは10月2日（日）と入れよう!

よりディープに農業体験したい方は、6月26日、8月28日、9月25日（各日曜）の田んぼの草取りにも参加してみよう。人数が集まれば「炊きたてご飯と天然塩のオニギリお昼」という世にも昭和レトロなミニミニ体験ができる・・・かも?

みんなに届けたいな、楽会仲間の声や音色



田植えイベントは、楽会仲間のこれまでの活動の成果を皆さんに届ける機会にもなりました。

まずは、鷺山主宰の論考などを著した『これからの教員養成と人間教育』【学文社：刊】が満を持して発売になりました。ちょっと（だいぶ？）おカタい書名ですが、対談やエッセイも充実していますし、何より楽会活動も紹介されているので、食わず嫌いせず（え、フォローになってない？）手にとってみましょう。

ご注文は最寄りの書店に注文するか、学文社へ直接申し込んでいただいても OK。

（学文社）Tel 03-3715-1501（担当：椎名）

Fax 03-3715-2012.

Email: Shina@gakubunsha.com

税込価格 2,835 円（定価の 10% オフ）上記よりお申込みいただいた方に、著書および振込用紙（手数料学文社負担）をお送りします。送料は無料



田植えの宴でも清涼感ある歌唱で私たちを楽しませてくれた中溝姫のファーストアルバムを紹介します。

これを聴いたあなた、忘れていた空を仰ぎ見るって暮らし方を再認識してください。

中溝ひろみ初アルバム発売！

タイトルは『Song for a Sky』が発売！

ジャズからオリジナルまで全 12 曲を収録。

宮之上貴昭のプロデュース&アレンジがいい感じ。

ピアノトリオ、ギター、ストリングス、クラリネット演奏の豪華版！！税込 3,000 円で。

ご注文は jwelhandsclean@yahoo.co.jp まで

楽会チャリティーコンサートの事実上の発起人である
テンホールズハーモニカ奏者の波木克己氏も数々の CD を
リリースしています。

震災に際し、「まずはできることから実行」という氏の姿勢
そのものの澄んだサウンドは、必ずやあなたのハートにも癒
しを運んでくれること間違いなし！

ご注文は〒207-0033 東京都東大和市芋窪 1-209 1 C 102
Tel / fax 042-564-0020 まで。

CD 各種

- ・風 (オリジナル)
- ・心に残るメロディー
- ・THE WIND
- ・故郷 (各 2,000 円)
- ・ハープマスター名曲集 (2500 円)



東日本大震災 義援金

中日新聞社会事業団 東海支部扱い

●浜松市天竜区の天竜製茶組合婦人部有志が3万円、同部代表の小出貞子さん、中谷格子さんが茶摘みをした売上金を中谷陽一朗組合長が天竜通信部へ。

57万円。ストリートパフォーマンス「フリースタイルフットボール」でパフォーマンスと見学者の善意。

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●静岡県西部リコーター同好会(内野勝治会長)が7050円、第16回リコーターフェスティバルin浜北なはたホールでの募金を大石龍さんが本社へ。

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●湖西市のコミュニティカフェin上の原が2万5000円を湖西支局へ。

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●磐田鈴木店(磐田市中泉の大竹歯科医院(大竹繁院長)は3万2255円(医院に設置の募金箱より)

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●中日・販売店扱い

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●郵便振替・書留

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●浜松市北区三ヶ日町の高野好史さんが1万円

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●義援金でお願い

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●中日新聞東海本社での義援金の受け付けは祝日を除く月曜日から金曜日の午前10時～午後5時としますのて、ご協力をお願いします。問い合わせは東海本社(電053(421)7711)へ。

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

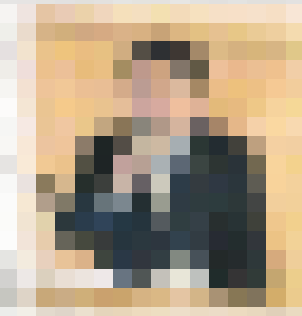
●義援金でお願い

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●義援金でお願い

●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●義援金でお願い



●掛川市の「花の香楽会」(主宰、鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が、16万1047円を掛川支局へ。

●義援金でお願い



やっぱ、飲みゃあウメェじゃん花の香

ことほど左様に自然は思い通りにはなりません、10月2日と設定した『誉富士』の稲刈りは、結果的に1週間ほど時期が早めでした。よって、集いし84名は、田んぼのコーナーを申し訳程度に刈り込む、なんちゃって稲刈りとあいなりました(+_+)。酒米の特性把握は難しい!!とはいえ、縄をなったり、ハズかけをしたりで、それなりの農体験も初参加者には好評でした。

勢い、余力は『宴』に向かうわけでして。秋刀魚も新米コシヒカリも素朴に美味。いつものメンバーによる歌とピアノも抜群。特別ゲストのピアニスト藤田ゆかりさんも1曲ご披露くださって、出し物も満腹感ありあり。

特筆は、今回のテーマである「花の香物語をいかに紡いでいくか」との問いかけに参加者のみなさんが応えてくださったことです。



花の香で乾杯！ みなさんご一緒に。



特別ゲスト
藤田ゆかりさんの
生演奏！

宴前、「正直、花の香の売れ行きが頭打ち。この楽しい集まりを継続するには、会員ひとりひとりが自分達の物語の産物であるこのお酒愛用してくれないと、酒蔵にも負担になってしまうかも。

もう一度原点に戻り、花の香と関わった感動の輪を広げてほしい」との世話人からのメッセージが発せられました。

注文をとったところ、82本もの花の香をご購入いただきました。「ひと夏越してまるやかさがひと味違う冬の花の香」を昨年ご案内して好評でしたが、この活動をもっと広げるためにも週末の自分へのご褒美や贈答品にこれからも花の香をどうぞ、よろしく(*^。^*)。

宴でも「やっぱ、花の香ってウメェよなあ」の声しきりでした。

地道な草刈作業にも新たな仲間

本来、田んぼの世話をするのは、猛暑の中での作業も含め、地道でけっこう辛いもの。今年はその辛さの一端も体験に加えようと夏4回草刈を行った。世話人中心ではあったが、浜松や藤枝からの新たな仲間のありがたい協力も！

食への感謝の気持ちを育む意味でも有益。
来夏も協力者求む！ ^^



実はこの2倍の面積しか稲刈りしてません

第3楽章の「花の香仕込みと蔵見学」は、来年2月の4(土)5(日)

自分達が植え、刈り取った酒米がいよいよお酒になる瞬間に立ち会う。という趣旨の第3楽章は、平成24年2月5日早朝に行われます。前夜の4日(土曜)は鷺山邸での恒例夜鍋談義。こちらでディープな仲間たちとディープな話題にふける楽しみはまた別格。参加ご希望の方は、次号通信のお知らせをお楽しみに。

鎌を振るい丁寧

掛川で酒米の稲刈り



美酒づくり 地域おこし

掛川市の幻の美酒「花の香」の復活を通して地域おこしに取り組む「花の香楽会」(主宰・鷺山恭彦・前東京学芸大学長)が二日、同市上土方の田んぼで、酒米の稲刈りをした。(佐野太郎)

県内外の100人

県内外から会員ら約百人が参加。本県生まれの酒米「誉富士」が実った田んぼに鎌を持って入り、農家の指導で、こうべを垂れた稲穂を丁寧に刈り取り、縄で束ねては天日干しした。

実った稲を丁寧に刈り取る参加者ら＝掛川市で

鷺山さんの教え子を通して活動を知り、参加した千葉県木更津市の会社員大場公隆さん(三)は「昔の人の苦勞と、食の大切さを実感しました」と心地よい汗をかいていた。

収穫した酒米は、「開運」で知られる地元の土井酒造場で来年二月から仕込まれる。

花の香は、明治時代に「遠州の銘酒」と呼ばれながら姿を消していたが、鷺山さんが呼びかけ、二〇〇七年に復活した。

問い合わせなどは、花の香楽会事務局の「酒のよけい」＝電話05337(72)25075＝へ。



第3楽章

「2/11.12」花の香仕込みで原点確認はいかが？

昨年は、震災と原発事故という事態に「ぬるま湯的な日常」を揺さぶられ、価値観が一変した方も多いのではないのでしょうか。

振り返ると花の香活動には、これからの暮らしに大切な「人とひととの絆づくり」、「ものづくりという生活の根っこを見つめ直す」という価値観が詰まっているように思います。

とりわけ『花の香仕込み』体験は、ものづくりの感動の頂点であり、忘れてはならない原点でもあります。

そんな場を下記のとおりご用意しました。

先着20名程度募集します。ぜひご応募を！



ワイワイ ガヤガヤ ^^

【ご案内 & 参加者募集】

第3楽章 「夜に語りあい、朝に花の香の仕込みを見学」

と き：平成24年2月11日（土）13：00 鷲山邸集合。土井酒造酒蔵見学と利き酒+夜の語り合い。

12日（日）早朝6：30、酒蔵にて仕込み見学と体験。朝食後解散。

ところ：鷲山邸へ集合。古民家で鍋を囲みつつ「絆再確認語り合い」+鷲山邸泊、早朝、車にて土井酒造へ移動。

人 数：申込み先着20名程度（宿泊スペースの関係上。オーバー分は要相談）

参加費：4,000円（貸し布団・夕朝食・利き酒込み）

申込み：1月31日（火）までに酒のすぎむら宛てに電話かFAXでお申し込みを。先着20名程度。

★ 陶酔の宴で育6（む）ものづくり・絆の会【予告編】★
3月18日（日）・土井酒造にて！

6年目の陶酔の宴を、上記スケジュールで計画しています。今から日程を調整して、たくさんの皆さんと共に「ものづくりのスタート点」へ関わっていただければ幸いです。私は参加する、というひとはぜひ、お友達も誘ってね。花の香の輪をもっともっと広げましょう！！



利き酒大会もあるよ！

【花の香短信】

花の香主宰の鷲山氏が代表を務める『JR掛川木造駅舎保存寄附金』活動が、目標達成直前です。鷲山代表は、「金額もさることながら、木造駅舎保存という価値観を共有することの大切さを、より多くの方々に広めたい」との思いを強く持っています。活動を知ってはいただけどまだ行動に移していないアナタ、ネットへ「掛川木造駅舎保存」と入力して市のHPから寄付の方法を確認してみてください。

Cut

(QRコードはこちら) →



花の香楽会2011【第3楽章】夜の語り合い～花の香仕込み体験【申込書】

申込日平成24年1月31日（火）まで。先着20名様。

◆申込み／何でもあり酒屋「酒のすぎむら」FAX0537-72-4990

氏名	電話	備考

※12日朝6時30分に土井酒造に直接来られる方の仕込み見学は可です。

(問)「酒のすぎむら」TEL0537-72-2575



3 / 18 (日) 6代目花の香生誕の場に、みんなで参集せよ!

去る2月12日恒例となった『第3楽章仕込み体験』を開催。参加人数は44人と、仕込み史上最多でした。お酒の仕込み体験は、早朝の寒さもなんのその。知的好奇心で参加者を満足させてくれました。

ハイライトは、仕込み当日ではなく前夜の『夜の語り合い』でのビンテージ『花の香』利き酒。昼の蔵見学時に行った利き酒の成績優秀者6人による2009、2010、2011産の『花の香』の飲み比べが行われたのです。結果は2011に「呑み応えがあり、香りもフルーティ」との高評価が集中しました。次いで評価が高かったのが2009。※世話人的には「2011は誉富士100%の花の香。やはり酒米の強みが受け入れられた。2009の健闘は、寝かせた花の香もそのまろやかさで十分お客様にアピールできるという自信につながる」との分析。

今後もより多くの方々のご舌とのどごしで、優良酒、われらが『花の香』を大いに広めようではありませんか。

百間は一呑にしかず。別紙『陶酔の宴』案内でお誘いあわせのうえご来場ください。ノリノリのアトラクションも企画中。



蔵見学時利き酒の様子

※本格ワインソムリエによる利き酒雑感

利き酒メンバーには長野でワインソムリエを務める八木雅子氏もいて「フルーティーで豊かな香りに力強さを覚えます。呑み応えがあり主張が感じられます」とのコメントもいただいた。

春野町「しななばたの春コンサート」企画進行中

いつも花の香楽会活動に熱く参加して下さる浜松市春野の『春野を元気にする会』の面々が4月7または8日にしななばたを会場にした春コンサートを企画。詳細判明次第おってお知らせします。



陶酔の宴の会場が南米フォルクローレサウンドに包まれるかも?

【花の香短信】

3/11 (日) 10:00~16:30

『結愛(ゆめ)を抱えて遠州横須賀へ』を掛川市横須賀147番地の古民家清水家住宅にて開催。

主催は世話人も参画する「掛川美茶倶楽部」。忘れてはならない東日本支援の継続を、J-POPや童謡、学生の紙芝居などの交流イベントを通じて行う。

参加500円で呈茶サービス付。陶酔の宴の前週はこちらへぜひ。

問：掛川南部観光案内所

TEL & FAX 0537-48-0190



◆**小雨に響くあの音あの声 花の香楽会陶醉の宴6**◆

みなさま、お風邪など召していらっしゃいませんか？
 あいにくの小雨混じりとなってしまった『陶醉の宴で育
 6（む）ものづくり・絆の会』でしたが、159人の
 仲間が大集結しました。熱い語らいに、絆も深まったこ
 とでしょう。なんとと言っても「百葉の長」日本酒を楽し
 む宴なのですから、風邪も容易には近づけませぬ。

アトラクションも充実していました。ピアニスト藤田
 氏のムーディな演奏、花の香歌姫の澄んだ声、ノリノリ
 のアンデス民謡というおなじみのプログラムに加え、迫
 力ある駒込高校 OB による創作和太鼓まで飛び出しま
 した。気分だけは雨雲を吹っ飛ばしたはずです。

最後は震災応援ソングでもある「上を向いて歩こう」
 の大合唱で宴を締めくくりました。



♡2012 年度会員登録手続きをお早目に♡

会費は年度更新です。情報紙の発送や
 会員情報管理のための費用に充てられ
 ます。2012 年もどうぞよろしくお願
 いします。同封の『登録用紙』に必要事項
 をご記入のうえお申し込みください。



ニューラベルお披露目
 ニー二版花の香ラベル。都合六度
 目のリニューアルです。え、無節操？
 いくえ、進化し続けているんです！



花の香楽会2012 第1楽章の

ウルトラ田植え7(は6月10日 日)に決定!

2012 花の香楽会第1楽章は、6月10日(日)午前11時からです。この活動が7年の長きにわたっ
 て続くのはなんともウルトラなこと。だから題して「ウルトラ田植え7(セブン)」なのです。

『誉富士』栽培への挑戦も3度目。ものづくりという縦糸が楽会の胆。より充実した酒米づくりにみん
 なで精進しましょう。申し込み用紙は5月中旬ころ会員各位にお届けします。



あなたも味わってください
 誉富士百穀新酒花の香を、ぜひどうぞ。
 詳しくは別紙申込書で。肴は楽会での体験話。

【花の香短信】

◇しなばたさくらコンサート・4/8(日)AM11:30◇

いつも宴に新鮮な食材を提供して下さる浜松市春野町信濃畑(し
 なばた)のみなさんが、4月8日(日)午前11時30分~そのしな
 ばたで「さくらコンサート」を催します。山里の桜を借景にクラシ
 ックやアイリッシュ音楽を楽しみつつ季節のお食事まで堪能できちゃ
 う催しです(コンサートだけの参加もOK)。

この通信がみなさんの手元に届くのがイベント直前なので、大急ぎで
 春野長蔵寺応援団を検索して情報を入手してくださいね。

お申込み・・・FAX053-986-0133

復活の美酒 また進化

掛川「花の香」蔵出しの宴

掛川市の幻の美酒「花の香」の復活を通して地域おこしに取り組む市民プロジェクト「花の香楽会」の新酒蔵出しが18日、掛川市小貫の土井酒造場であった。県内外から会員約160人が「陶酔の宴」に集まって早速、味わった。

(佐野太郎)

新ラベルに誉富士

楽会は二〇〇六年から春をイメージした桃色から活動を始め、復活になった。花の香の蔵出しは六回。酒米は、県産の素材を使った料理の「誉富士」を使い、田植えや稲刈りなど栽培にも会員が関わってきた。銘酒「開運」で知られる土井酒造場で先月十二日に仕込み、一升瓶にして二千本分が仕上げられた。今からラベルに誉富士のマークが施され、外箱のデザインは「遠州の銘酒」と呼ばれながら姿を消していたが、鶴山さんの呼び掛けで〇七年に復活。最近ではブランドとして定着し、通年で問い合わせがあるという。



香り高い新酒を竹筒に入れて味わう会員。掛川市で

七二〇ミリリットル千五百円、一・八リットル千円。原酒とにごり酒は七二〇ミリリットル千七百円。問い合わせは、土井酒造場 電0537(74)2006へ。

銘酒「花の香」蔵出し 掛川で「楽会」お披露目 会員ら手料理と新酒堪能



竹筒に入れて来場者に振る舞われた「花の香」。掛川市小貫の土井酒造場

明治時代まで掛川市と陶酔の宴(うたげ)土方地区で醸造されてきた銘酒「花の香」を6年前に復活させた。今年の花の香をお披露目する「新酒の蔵出し」(同市土方)の先祖



れた。県内の小中高た。校生約70人が、日ごろの練習成果を披露した。競技は小中高校生女子が4種目(跳馬、段違い平行棒、平均台、床)で競つ1部と、小学生男女がマットと跳び箱を行う2部。選手は保護者らの声援を受けて、高度な技に挑戦していた。同大では、学生が指導するスポーツ教室を行っている。大会も実習の一環として学生主体で運営した。華麗な技を披露する華幸(華田市大原の静岡産大器田キヤンパス)

開運花の香は720ミリリットルが1500円、1・8リットルが3千円、原酒モナル(720ミリリットル)が1700円(いずれも税込み)。